

1. 製品説明

「オキサリプラチンの臨床効果及び安全性について」

「切除不能、進行再発胃癌」に対するオキサリプラチンの臨床効果及び安全性
～承認を受けて留意すべきこと～について報告された。

2. ミニレクチャー

「高齢者のがん治療」 田中 光司 医師

現在、高齢者のがん治療に於いては、手術や化学療法について年齢に応じた治療法は未確立である。化学療法は何歳までが妥当か？ 延命と症状コントロールが得られるか？ 減量、休薬はどの程度まで行ってよいか？ など解明されていない多くの課題がある。

抗がん剤の投与量に関する概念としては、Dose Intensity, RDIなどが知られているが、多剤併用療法の際の計算方法が未確立であったり、高齢者に対応するものはない状況である。

今後は、当院における75歳以上の高齢者に対する大腸がんの化学療法について、減量や休薬、治療効果について研究をすすめていく予定である。

3. 症例検討

「化学療法治療患者における iPad を用いた栄養サポートの試み」 白井 栄養士

現在取り組んでいる iPad を用いた遠隔栄養管理システムについて紹介された。

本システムでは、日々の患者の状態や摂食状況、食事内容などを記録することが出来る。

栄養士はその情報に基づき、患者に応じた食事メニューを遠隔配信することが出来る。今後は、本システムを有効に活用することにより、化学療法患者の栄養サポートに大いに貢献出来ると考えられる。

4. 地域がん登録の入力状況について

5. その他

・次回開催予定日：平成28年11月11日(金)15時より

今回は、三木院長によるミニレクチャーと田中副院長からの症例検討を予定しています。